

街路樹精密診断委託(上北沢3-18~32先)

株式会社 川端造園

| カルテNo | 樹木No | 樹種 | H(m) | C(cm) | W(m) | 外観の所見 | 精密診断 | 精密診断高さ(m) | 腐朽率(%) | 精密診断判定 | 摘要 |
|-------|------|------|------|-------|------|---|------|-----------|--------|--------|---|
| 1 | 1 | サクラ類 | 8.0 | 227 | 9.5 | 幹: 傾斜(小 7度) 幹: 樹皮欠損、枯死、腐朽 120×30×5 幹: 樹皮欠損、腐朽 15×15、カワウソタケ 根元: 樹皮欠損、腐朽 5×30×15 打音異常(小)(H0~0.2m) | ■ | 0.10 | 47.0 | B2 | 根元に大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%に迫る値を示し、風圧軽減剪定実施の上、短期周期の継続観察を要す樹木である。 |
| 2 | 9 | サクラ類 | 7.0 | 213 | 7.5 | 幹: 樹皮欠損、腐朽 打音異常(大)(H0.5~1.5m) 露出根: 樹皮欠損、腐朽 | ■ | 0.90 | 58.0 | C | 幹に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。大枝に電柱接触(寄り掛かり)があり剪定を要すが、剪定後に倒木の危険性もあるため、植替え検討が望ましい。 |
| 3 | 13 | サクラ類 | 12.5 | 179 | 7.5 | 幹: 傾斜(大 15度) 打音異常(大)(H0~0.5m) 根元: 樹皮欠損、腐朽 40×30×5 根元: ベッコウタケ | ■ | 0.20 | 54.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。保存のためには風圧軽減剪定実施の上、短期周期の観察が必要であるが、植え替えも選択肢の一つである。 |
| 4 | 19 | サクラ類 | 10.0 | 207 | 8.0 | 幹、根元: 閉塞80cm 幹、根元: 打音異常(大) 根元: コフキタケ、ベッコウタケ | ■ | 0.30 | 48.0 | B2 | 根元に大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%に迫る値を示し、風圧軽減剪定実施の上、短期周期の継続観察を要す樹木である。 |
| 5 | 20 | サクラ類 | 13.0 | 222 | 8.0 | 打音異常(大)(H0~0.8m) 幹、根元: ベッコウタケ 根元: 鋼棒貫入異常 | ■ | 0.05 | 69.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を遙かに超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。根元の被害は進行傾向で露出根の枯死もあり支持力に乏しいため、至急植え替えが望ましい。 |
| 6 | 25 | サクラ類 | 5.5 | 220 | 4.0 | 幹: 傾斜(大 15度) ゆらぎ(大) 大枝分岐部、幹、根元: 樹皮欠損、腐朽(芯) | ■ | 0.60 | 61.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を遙かに超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。幹を押したときに著しい揺らぎがあり支持力に乏しいため、至急植え替えが望ましい。 |
| 7 | 26 | サクラ類 | 9.0 | 200 | 7.5 | 大枝: 樹皮欠損、腐朽 50×20 大枝分岐部: 樹皮欠損、腐朽(芯) 幹、根元: 閉塞140cm 幹、根元: 打音異常(大) | ■ | 0.40 | 6.0 | A | 幹辺材に異常が確認されたが、腐朽空洞率は小さな値であった。現時点で幹折損の可能性は低い、幹から分かれた大枝付け根に著しい被害があり大枝剪定の必要な樹木である。 |
| 8 | 27 | サクラ類 | 7.0 | 232 | 6.0 | 大枝: 樹皮欠損、腐朽 100×20 大枝、幹: 樹皮欠損、腐朽 250×40×40/75(芯) 幹、根元: 樹皮欠損、腐朽、打音異常(大) | ■ | 1.00 | 66.0 | C | 幹に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を遙かに超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。被害は根元、幹、大枝に連続する大きなもので将来性に乏しく、植え替え検討を要する。 |
| 9 | 31 | サクラ類 | 11.0 | 222 | 9.0 | 根元: マンネンタケ | ■ | 0.10 | 52.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。保存のためには風圧軽減剪定実施の上、短期周期の観察が必要であるが、根元に加害性の高いマンネンタケの着生が認められるため、植え替えも選択肢の一つである。 |

| カルテNo | 樹木No | 樹種 | H(m) | C(cm) | W(m) | 外観的所見 | 精密診断 | 精密診断高さ(m) | 腐朽率(%) | 精密診断判定 | 摘要 |
|-------|------|------|------|-------|------|---|------|-----------|--------|--------|--|
| 10 | 36 | サクラ類 | 5.5 | 145 | 7.5 | 幹：傾斜(大 15度) 打音異常(大) (H0~0.3m) | ■ | 0.05 | 57.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。保存のためには風圧軽減剪定実施の上、短期周期の観察が必要であるが、植え替えも選択肢の一つである。 |
| 11 | 37 | サクラ類 | 5.0 | 233 | 4.5 | 樹勢不良 大枝：樹皮欠損、腐朽 80×20 大枝：シイサルノコシカケ 幹、根元：樹皮欠損、腐朽 50×10 根元：ナラタケモドキ、コフキタケ、マンネンタケ、ヒイロタケ | ■ | 0.10 | 27.0 | B1 | 根元にやや大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%に満たないが、樹勢衰退傾向で根元に著しい被害があるため、継続観察を要す樹木である。 |
| 12 | 45 | サクラ類 | 8.5 | 212 | 6.5 | 幹：傾斜(大 21度) 大枝分岐部：樹皮欠損、腐朽(貫通) 幹、根元：打音異常(大) | ■ | 0.70 | 50.0 | C | 幹に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を示し、折損倒木の可能性がある樹木である。保存のためには風圧軽減剪定実施の上、短期周期の観察が必要である。 |
| 13 | 49 | サクラ類 | 9.0 | 235 | 8.0 | 幹：樹皮欠損、腐朽(貫通)、打音異常(大) 根元：コフキタケ 根元：開口空洞、腐朽(芯) | ■ | 0.05 | 58.0 | C | 根元に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は倒木危険度判定の目安である50%を超えており、折損倒木の危険性が高い樹木である。コフキタケは活性で被害は進行傾向のため、植え替え検討が望ましい。 |